みんなの広場

Tokorozawa ものしりウォーキング ⑬

飛行機新道～旭橋

飛行機新道は、明治44年（1911）に所沢飛行場が開設されてまもなく開通した道路です。鉄道で運ばれてきた飛行機を所沢駅から輸送する道としてつくられました。当初、線路の東側に沿って下新井（現西新井町）を通る案もありましたが、反対の声もあり、結局御幸町を通って飛行場正門へ向かう現在のルートになりました。まだトレーラーなどというものがない時代でしたから、駅から何頭もの牛にひかれて飛行機は運ばれました。

飛行機新道（昭和39年ごろ）

飛行機新道を北へ行くと、東川のところで旭橋が架かっています。旭橋は、昭和5年（1930）につくられました。それまでは土橋でした。この橋は、御影石を基調とし連続したアーチ状にかたどった欄干や幾何学模様のデザインがほどこされた両端の太い親柱が特徴的で、飛行場の町にふさわしい橋としてつくられたことが伺えます。つくられた当初は、親柱の上にブロンズ製の電灯が設置されていて、夜になると若者が本を読みに来たといいます。しかし、電灯は戦時中の供出によって失われてしまいました。

実はこの橋、落成式がおこなわれた同年4月26日前夜の祝賀会の最中に、欄干が倒れて橋の上にいた十数人が川に投げ出されてけがをするというアクシデントに見舞われました。当時の新聞には「偽の模範橋」「祝賀の大珍事」などと書き立てられ一時評判を落としました。調査したところ欄干部分の基礎に問題があったことが判明し、即刻補強工事が施されてようやく完成しました。その後、昭和60年に補修をうけましたが、近年、埼玉県の近代化遺産の一つとして注目されています。

大正から昭和にかけての所沢飛行場は、所沢飛行学校が設けられ、軍事施設というよりも教育機関としての性格が強い施設でした。昭和初期に民間の飛行学校を設立した千葉県佐倉出身の飯沼金太郎は、大正時代、所沢駅にほど近い杉田屋という旅館に泊まり込んで飛行場に通い技術を学びました。飛行機新道は、大空への夢を託した若者たちが通った道でもありました。

旭橋

▲大空に向けて飛ばせたら、優勝はぼくのもの。快晴の青空のもと行われた第9回模型飛行機大会。
4月7日㈯／所沢航空記念公園

▲春本番。しだれ桜が泉から流れ出るわき水のように咲き乱れ、たくさんの人々を魅了しました。
4月上旬／金仙寺境内（堀之内）

▲市民文化フェア・オープニングは、明るく元気な松井小6年生によるソーラン節が盛り上げました。
4月7日㈯／所沢航空記念公園

▲日本の歌も交え力強い歌声を披露しました。市内中学校の合唱団も友情出演。安養市立合唱団公演。
4月17日㈫／ミューズ・アークホール

街かどズームイン Zoom in

▶皆さんからの「街かどズームイン」情報を募集▶採用者には事前に連絡します▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内で▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「宿題」▶春は入学、就職と新しいことが始まる季節です▶まず初めに学校の宿題を思い浮かべますが、社会や家庭の中、いくつになっても宿題はあるようです▶皆さんにとっての新たな目標や課題がありましたらお気軽にお寄せください▶締め切りは5月16日㈬必着▶住所、氏名、年齢、電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-1-1所沢市役所広報広聴課「みんなの広場」係

誰でもエッセイ

テーマ "言うことなし"

気ままな旅

元町・斎藤　けさみ

長年の念願だったメキシコに行けた。2月の出発予定で旅行社に問い合わせると、今回は30人とのこと、海外旅行は大人数で行きたくないので3月に変更。最終的にはツアーコンダクターを含め5人で出発となる。

ダラス経由でメキシコシティー着。翌日から遺跡めぐりとなる。市内の移動はワゴン車で席もゆったり。観光を終え、国内航空でカンクンへ飛びホテルに着く。ホテルの部屋はスイートルーム。広すぎてどこに居たらいいのか迷う程。一般ツアーでこの待遇は言うことなし。

カンクンは一大リゾート地でフリータイムを過ごすには最高の所。目の前に開けたカリブ海のすばらしさ。沖は濃紺、岸辺はエメラルドグリーンで真っ白な砂浜が延々と続いている。寄せかえす波にひざまで濡れながら白砂の渚を歩いた。カリブ海の美しさは望外の喜びであった。

巡礼で得た平常心

若狭・近藤　三七雄

人間は狂言、ざん言、悪口、さいき心等で他者を簡単に悪者にしてしまう恐ろしい武器を持っている。かつて私はその標的になって苦脳した経験がある。知人の助言でそれを知ったのだが、その時はすでに多くの人間にいやがらせを受け、警察へ相談に行ったこともある。しかし犯人がだれかわからねば法的手段はとれぬと言われて結局すべてを許した。

残ったものは人間不信と激しおん念。たまらず私は巡礼を始め僧の説法で救われた。彼いわく「あなたの苦悩は言うことありへのこだわり、平安は言うことなしの世界にあるのです。善人ぶった悪人はいつか罰を受けるでしょう」おかげさまで最近やっと平常心を取り戻した。

100㎞マラソン

下富・吉田　真由美

毎年6月、北海道のサロマ湖で100㎞マラソンが行われます。ここ数年、私は遠ざかってしまっていますが、以前はその大会で完走することを目標に生活していたほどでした。

長い距離だけに半年くらいかけて準備します。航空記念公園のまわりを走ったり、西武ドームまで歩いてみたりとこつこつ練習を重ねて3泊4日の日程で出発。

宿泊はマラソンコースの74㎞地点にあるホテル。近くにはオホーツク海があり、客室から食事をしながらサロマ湖が望めるところです。上げ膳据え膳でおいしいものをいただいて完走できれば、もう言うことなしでした。

花散歩の一日

上山口・大村　恵美子

4月のある日曜日、夫と二人で春の花々を訪ねて小さな旅でました。ローカル色豊かな秩父鉄道に乗り、車窓に広がる桜の花に見とれながら武州中川で下車。

清雲寺の樹齢600年にしだれ桜を見物。その見事な枝ぶり、咲きっぷりに感嘆しました。

次は武州日野で下車。カタクリの群生はホームからで目にとまり、うす紫色の可憐な姿に思わず息をのみました。

折しも今日はSLデー。大勢のカメラマンが三脚を立てて、駅に続く桜並木の中を走って来るSLを今や遅しと待っていました。

ゴゴー。間もなくすさまじい音響とともにSLが入ってきました。「お父さんも撮って」私は思わず夫にカメラを渡しました。私は手を振り車窓の人も手を振り運転手は高々と汽笛を鳴らしました。

はつらつ ところ野老っ子

松岡　達矢さん
（小手指町在住）

何でもありの活動で自己表現していきたい

写真を中心に絵画、オブジェ、映像など、あらゆるアート作品を自由に創作し、発表の場を提供する早稲田大学人間科学部内のサークル「コインランドリー」。松岡さんはそのサークルの代表を務めています。

「小さいころから何となく絵を描いたり、映画を観たりすることが好きでしたが、本気で実感するようになったのは大学に入ってからです。」

ご本人は恐縮しますが、サークルの代表に持ち上げられた陰には、人柄や行動力への評価があってのこと。後輩たちは普段の彼を「明るくておもしろい人」と評します。また、イベント前には率先して街中へ出て、写真を撮ったりビラを配ったりするそうです。

「最近ギター片手に歌う人が多いですよね。同じように、何か自己表現したいのだけど、できずにいる同世代の仲間に、表現の場を提供するのが我がサークルのモットーです。今の大学生はこういうことを考えているということを伝えていければと思います。」

「コインランドリー」は5月12日㈯～13日㈰に所沢駅東口駅前・くすのきホールで行われる「ところざわ旬の市」会場で作品展を開催します。今回のテーマは「Circle of Life（輪廻転生）」。広い会場内の中央にテントを張って、大小さまざまな作品の並ぶ見世物小屋風の展示スペースを考えています。

「最近、とかくアメリカ風のものが好まれていますから、あえて日本の良さもアピールしたくて畳敷きの一角を設けます。お茶でもすすりながら作品を眺めてもらうのが理想なんです。」と話す松岡さん本人は、今回油絵を出展。このほかサークルメンバー制作の映像作品も会場で上映されます。

◀メンバーの作品

「学内のイベントではなかなか市民の方々まで活動の成果をお見せできなかったので、今回のイベントは願ってもない機会だと考えています。」

将来は映画の仕事をしてみたいと語る松岡さん。今まさに"旬"の彼らの創作活動に興味をお持ちの方、ぜひ会場を訪ねてみてください。

ご馳走でおなかいっぱい

北野・小谷　末代

そうあの日は10年も前のことです。ある会合で秩父の仲間たちのところへ何人かで出かけた時、お昼を頂いたのですが、その品数の多いこと。

心のこもった手づくり料理で山菜の天ぷら、里芋の煮物、上品なお吸い物、野菜サラダ、混ぜごはんにお赤飯、つけもの、まだまだたくさん、日本食の豊かなこと、もうおなかいっぱい。言うことなしでした。

後にも先にもこんなにたくさんの料理に囲まれたことはないです。

春が好き

東狭山ヶ丘・加藤　富美子

今年も満開の桜を見ることができました。「季節の中でどの季節が一番好きか？」と聞かれたら迷うことなく「春」と答えます。

冬はつらい。寒さの厳しい長野で生まれ育ったせいか、冬の寒さは、体の調子を悪くした思い出が多くて。唯一、冬でいいものは真っ白い雪だけです。

春になると父が、山からコキノシタを取ってきてくれたことを思い出します。それを母が天ぷらにします。もちろん、子どもの私はそんなの大嫌いでした。父はうれしそうに食べます。その顔は言うことなしの満足顔。きっと、父も春が大好きだったのでしょう。

楽しい杯

小手指町・徳丸　笑子

夫が40年勤めた会社を退職し、町会長をしていた時、久しぶりに帰郷してきた義弟と晩酌の酒をくみ交わしていた。

そのさなか、夫は「わが40年に悔いはなしだ」と話したすと、義弟も「後悔の憂いなく健康で働けたと言うことが、何よりのことです」とねぎらいの言葉をくれた。二人はまた楽しく杯を重ねていた。夫は妻の私にはそのひと言を言いそびれて、肝胆相照らす仲であった義弟に、そのように述懐していた。

私は、大正一桁生まれの薩摩男子である夫の気質は重々心得ていたので「まあ、これでよいのだ。二人の談笑に水を差すこともない」と常のこと焼酎のかんをつけていた。もう十数年も昔の話である。

パン教室のお楽しみ

久米・立山　礼子

月に一度のパン教室は私のお楽しみ。先生のお宅で、仲のいいお友達とアットホームな授業を受けている。こねて丸めて焼き上げる。オーブンの前でそわそわワクワクのぞきこむ。その間に飲み物とサラダの用意も忘れない。

焼きあがったパンをトンッとたきつけショックを与える。型から取り出したパンは釜のぴもよく「早く食べて！」とパチパチないている。熱くて手で持てないほどのパンをハフハフ言いながら食べる時、「シアワセ～」と思う。これが私の「言うことなし」！

夢に託す

久米・井原　喜一郎

「はがき」で応募できるいろいろなクイズが、ラジオ・テレビ・新聞等で毎日のように紹介されています。私もマニアではありませんが、これはと思うものにはがきを出しています。

過去にテレビでおなじみの料理番組では、テーブルカバーを始めとする十種類ぐらいのセット商品、新聞ではペアウオッチ、ラジオでは全国で3人しか当選しないという日本酒、あるいはプロ野球の入場券等々。商品が手元に届いた時は、やはり「やった！」と思い、心の中で拍手喝采です。

次回のテーマは「宿題」です

ご覧ください

テレビ埼玉

●所沢リポート

5月25日㈮／①午後5時30分～40分②午後10時15分～25分放映

『ところざわ旬の市』

シティケーブルネット

●広報ところざわ テレビ情報館

5月17日㈭～／①午後1時55分～2時②午後9時55分～10時放映

広報テレビ番組

リサイクルふれあい館 不用品ガイド

●譲ります　▽A型ベビーカー▽ゴルフセット（靴26㎝付）▽座卓（106㎝×78㎝×36㎝）▽ベビーダンス▽スキー板（男性・女性用）▽エレクトーン▽ビデオデッキ▽ドレッサー▽ぶらさがり健康器具

●求めます　▽食卓6点セット▽テレビコーナーボード▽赤ちゃん用ハイアンドローチェア▽家庭用ミシン▽原付バイク▽オイル草刈り機（ハイヤー式）▽ピアノ▽電子レンジ

受付方法　電話による先着順で紹介します。5月6日から受け付けます。利用者は、所沢市民に限ります。

休館日　月曜日、祝休日

申し込み・問い合わせ　リサイクルふれあい館（☎944-0008）